

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公開番号】特開 2002-200310 (P2002-200310A)
 【公開日】平成 14 年 7 月 16 日 (2002.7.16)
 【出願番号】特願 2001-177 (P2001-177)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 9
 A 6 3 F 7/02 3 3 2 B
 A 6 3 F 7/02 3 5 4

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 15 日 (2007.5.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技客が獲得した遊技媒体を、その個数に応じて、色の異なる複数種類の特殊景品に交換する際に利用する景品交換管理装置であって、

前記特殊景品の種類毎に、対応する特殊景品と同色ないし同系色に設定された色表示を記憶する記憶手段と、

前記遊技媒体の個数を含むデータを入力するデータ入力手段と、

このデータ入力手段によって入力された前記遊技媒体の個数の全部または一部を各特殊景品の個数に換算する演算手段と、

この演算手段によって換算された各特殊景品の個数に応じて、当該特殊景品の種類毎に、前記記憶手段に記憶された色表示を、個数を示す文字と共に表示する表示手段とを備え、前記色表示は矩形をなしている、ことを特徴とする景品交換管理装置。

【請求項 2】

前記記憶手段に記憶すべき前記色表示の設定を、前記表示手段の表示によって確認しながら行うことができるように構成されている、ことを特徴とする請求項 1 に記載の景品交換管理装置。

【請求項 3】

前記色表示の設定を行う際、選択の対象となる複数の色見本を前記表示手段により表示できるように構成されている、ことを特徴とする請求項 2 に記載の景品交換管理装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段】

第 1 の発明は、遊技客が獲得した遊技媒体を、その個数に応じて、色の異なる複数種類の特殊景品に交換する際に利用する景品交換管理装置であって、前記特殊景品の種類毎に、対応する特殊景品と同色ないし同系色に設定された色表示を記憶する記憶手段と、前記

遊技媒体の個数を含むデータを入力するデータ入力手段と、このデータ入力手段によって入力された前記遊技媒体の個数の全部または一部を各特殊景品の個数に換算する演算手段と、この演算手段によって換算された各特殊景品の個数に応じて、当該特殊景品の種類毎に、前記記憶手段に記憶された色表示を、個数を示す文字と共に表示する表示手段とを備え、前記色表示は矩形をなしている、ことを特徴とする景品交換管理装置である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

この第3の発明によれば、第2の発明において、設定すべき色表示の色を色見本の中から選択することで、色表示の設定作業をより一層迅速的確に行うことができる。